

三加和  
中学校  
学校たより

# 磨き合う



11月13日(金)  
11月

## 三加和中の生徒はすごいですね!



10月1日(日)に小中合同PTAでのリサイクル活動がありました。(ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。)表題の言葉はその時に来られていた業者の方がおっしゃった言葉です。私は、学校のリサイクル品を搬出して、その場にはいなかったのですが、おそらくそこで作業していた中学生たちがよく頑張ってくれていたのでしょう。「いや、三加和中の生徒はすごいんですね!!とても素直で働き、挨拶もとてもいいですね!他に回った中学校とは大違いです」と褒めておられたそうです。うれいんですね!確かに私がこれまで関わってきた中学校の記憶を思い返してみても、この半年の間で、「こんな中学生っているんだ!!」と感動させられることが多かったと思います。本当に、このまま純粋で素直なままの大人になってほしいと思います。こ木からも、学校、家庭、地域で、この純粋な生徒たちを、周りが感謝される人、頼られる人、かわいがられる人になるよう温かく見守り、育ててほしいと思います。ご協力をよろしくお願ひいたします。

## 若者たちが学んだことは...?

松下村塾の話、前号のつづきです...

吉田松陰から教訓を受けた、片田舎の79人の若者たちは、その松下村塾で何を学び、身につけたのでしょうか? それは...『**普段の生活で至誠を貫くこと**』と『**自分だけの人生の役割に気づくこと**』  
しん つかぬ だたそうです!

松陰先生は、79人の若者たちに、『何のために生きてきたのか』、『生まれてきた役割は何か』を考えさせたそうです。当然、みんなと同じような普通の若者ですから、こ人を質問もあたそうです。『そんな世の中に生まれてきた役割、と言われても、私にはわかりません...』そんな生徒たちに松陰先生はこう言ったそうです。『**至誠を貫きなさい。**』“至誠”とは、**普段やらなければならぬことを、真剣に本気で誠意をもってやることだ。**朝起きたら、玄関の掃除、鳥のエサやり、布団干し...そういうことを真剣にやりなさい。絶対に手正抜かないで。とにかく真剣にやりなさい。そうしたら、いつか必ず自分のすべき役割がわかってくる。』...と。

そう、今のみんなにあてはめれば、あいつを立ちどめて大きな声で言うとか、提出物忘れずに時間を守るとか、人の話を目を見て聞くとか、そうじを隅々まで丁寧にやる...そういうことを誠心誠意をこめてやりなさい、てことなんです。左のリサイクルの話なんて展型的なまじりや、てい話ですよ。その時にせな人ことを本気でできち、とやっていけば、『あ、自分が生きてきた役割、てこういうことか...』てところに気がつくんです。だから、**普段が大事**なんでしょう。何でもそうですけど、『**普段、どれだけのことをやっていたか、これが大事だ**』と松陰先生は教えたそうです。そして、それを素直に忠実に守った79人の若者が、今の日本をつくりあげてくれたんです!! 本当にそれだけなんです。それ、勉強も大事です。でも、それ以上に大切なことは、毎日すべきことをまじりとやっていくことなんです!! どうですか? 思春期の今が、自分の人格を変える大きなチャンスです! まず行動に移してみませんか? ...『何からしようか...』と思ってくれたあなた。パッと思いつかぬのなら、まず自分のそばにいる人、家族、友人、先生、誰でもいいです。**相手を喜ばせることをやってみませんか?**

大人になっていく君たちへ... まわりからかわいがられ、必要とされる大人になってほしい... 私の願ひです。

返信  
よろしく  
お願ひします